

# W A K O C I R C L E



## CONTENTS

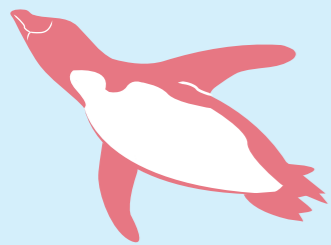
- 新入生へのメッセージ
- 和光大学創立50周年記念式典・ホームカミングデーレポート
- Club Activities : Dancing Team Bird
- 和光はてな見聞録 / 伝書ばとん
- Campus Snap : オススメの授業はなんですか?
- 授業アンケート結果
- MY CHOICE : 松村一男先生

和光大学通信

No.

139

2016/04/01



# 新入生へのメッセージ

## 大いに学べ！大いに学べ！

学長 伊東 達夫

大学の学問は文献を読み、教室で講義を聴くことのみではありません。時には教室から外へ出て、自分の目で社会の実際の姿を観察し、そこでの考察を思索の中に応用することもひとつの学問研究の方法です。それによって文献研究が活かされ、学問に血を通わせることができますと思います。学問の世界は広く深いですが、きっと君達を快く受け入れてくれるでしょう。

自らが選んだ学問の世界です。大いに楽しんでください。



表現学部長  
松枝 到



現代人間学部長  
伊藤 武彦

## 社会参加で未来を創る

副学長 樋口 弘夫

平成 26 年版『子ども・若者白書』によれば、「社会現象が変えられるかもしれない」という問いに NO! と答えた比率は、日本が調査国中トップで、若者が未来に期待を持ってない様子がうかがえます。

昨年の公職選挙法等の改正により、今夏予定される参議院議員選挙から満 18 歳以上が投票できるようになりました。「どんな将来を考えるのか」皆さんの明日を見つめ、行動するチャンスです！

和光大学は、これから日本の社会を創っていく皆さんの力になりたいと思います。ご入学おめでとうございます。



大学院  
総合文化研究科委員長  
岩間 剛一



経済経営学部長  
半谷 俊彦

## ゆったりとした時を

副学長 加藤三由紀

4月は、新入生にとって少し慌ただしいかもしれませんが、でも実は、大学はゆったりと過ごせる場です。とりわけ和光大学は空が高く、授業もイベントもオープンで、何かをほわっと感じたり、じっくり観察したり考えたりするのに絶好のスポットがたくさんあります。忙しいのが好きな人も、ふと立ち止まって見つめたいことに出逢えるでしょう。

大学ならではのスローな時間が、社会で活動するための強い軸を造ってくれるはずです。



# CONTENTS

WAKO CIRCLE No.139

2016/04/01

- 02 新入生へのメッセージ
- 03 和光大学創立 50 周年記念式典・ホームカミングデー レポート
- 05 Club Activities : Dancing Team Bird
- 06 和光はてな見聞録：管理センター・トレーニングルーム  
伝書ばとん：小瀬村真美先生
- 07 Campus Snap：オススメの授業はなんですか？
- 08 授業アンケート結果
- 09 学生スタッフ募集
- 11 Campus Information
- 13 新任教員の紹介・退職される教員の紹介
- 14 MY CHOICE：松村一男先生
- 15 OUR NEIGHBORS  
：在日ファンク 仰木亮彦さん、浜野謙太さん、ジェントル久保田さん



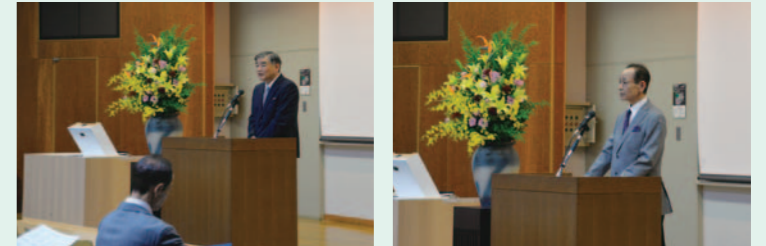
津久井智子さん 作 (人間関係学科 卒業)

# 和光大学創立 50 周年記念式典 & ホームカミングデー レポート

2015年11月1日(日)の、例年よりはあたたかいこの日に、和光大学創立50周年記念式典・ホームカミングデーが盛大に行われました。三部構成で行われた当日の様子をご紹介します。

## 第一部 記念式典

J-401 教室にて、学長からの挨拶、2015年度より導入された UI の説明などが行われました。和光大学初代学長の梅根悟先生のご息、梅根要氏にお越しいただき、開学時の様子をお話いただきました。梅根悟先生の肉声と写真で、当手を想起させられる式典となりました。



### トークショー

浜野謙太さん、ジェントル久保田さん、仰木亮彦さん、アナウンサーの有働文子さん、堂前雅史先生の5名が登壇され、和光大学での思い出話が飛び交いました。

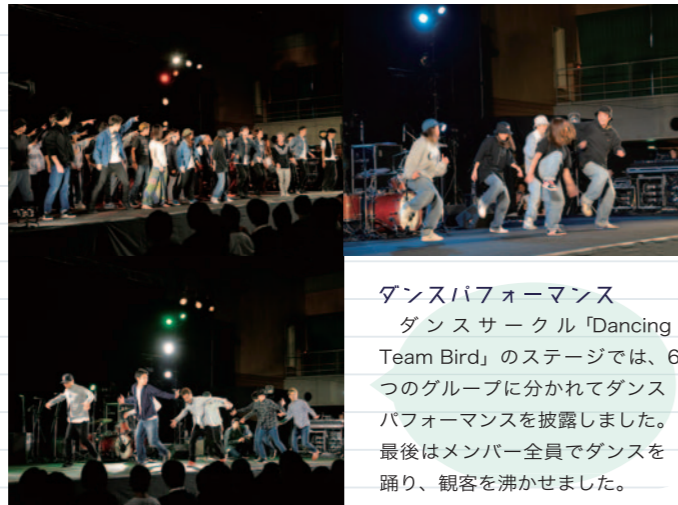
### 在日ファンクライブ

軽快な音楽とともにステージに「在日ファンク」のメンバー7人が登場し、1曲目「きず」の演奏が始まると会場は一気に盛り上がりました。



### 『超装Dセイバー』ヒーローショー

映像メディア研究会 Team D によるヒーローショーも行われました。『超装Dセイバー』は和光大学を飛び出し、町田のご当地ヒーローとしても親しまれています。



### ダンスパフォーマンス

ダンスサークル「Dancing Team Bird」のステージでは、6つのグループに分かれてダンスパフォーマンスを披露しました。最後はメンバー全員でダンスを踊り、観客を沸かせました。



## 第二部 記念コンサート

パレストラ(体育館)メインアリーナが大きく立派なライブ会場となり、卒業生の浜野謙太さんを中心とする「在日ファンク」が生ライブを行い、在学生・卒業生などが一緒になって大いに盛り上がりました！ライブのあとは、堂前先生と浜野さん、久保田さん、仰木さんとのトークショーも繰り広げられ、活躍している卒業生の学生時代の話に花が咲きました。

## 第三部 懇親会

生協食堂にて、多くの方が交流する時間となりました。卒業生や教職員、学生、約120名の方が参加しました。同窓会長の打越さんの乾杯挨拶を皮切りに、卒業生の方々から「大学に一言」「50周年お祝いの言葉」をたくさんいただき、会の終盤には混声合唱団が美声を届けてくれました。当日は大学祭も開催されていたため、「昔の大学祭と変わったなあ」「部屋付近は昔のままだなあ」などと懐かしむ声もありました。

和光大学から飛び立ち、帰ってきてくれ、本当に多くの卒業生に支えられていると実感しました。卒業生の方々も昔の仲間と楽しいひと時を過ごして下さったように思います。

これから新たな歴史を在校生・卒業生・教職員で創っていきましょう！！  
～小さくてもダイヤモンドのような本物の光を放つ大学～



### ▼和光大学UI スローガン

異質力で、輝く。》》



はだしであるこう、和光大学。

ロゴマーク：金子明日香さん 作 (芸術学科 卒業)  
キャッチコピー：松田青那さん 作 (心理教育学科 卒業)



同日開催！  
大学祭！

# 和光はてな？見聞録

普段の学生生活ではなかなか知ることのできないモノや場所を調査し、光を当てていく連載企画。

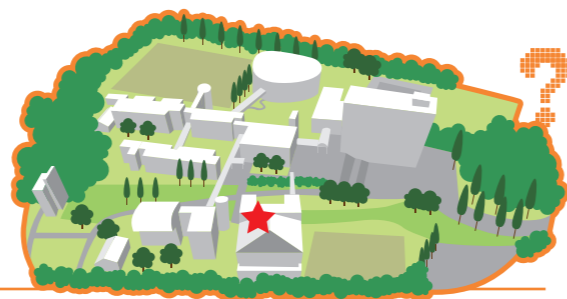
## 第9回 「管理センター・トレーニングルーム」

体育館「パレストラ」の3階に、管理センターはある。今回は、トレーナーの千葉亮太さん・秋元裕さん・石毛俊さんにお話を伺った。

管理センターは、パレストラ全体（体育館コートやトレーニングルーム）の管理を行っている。トレーニングルームは、ランニングマシンなどが外から見て取れる。しかし、ここが利用料無料のジムだと知っている人は少ないだろう。

学生はもちろん地域の方も利用でき、初回講習を終えるといつでも自由に利用することができる。初回講習は1回90分程度で、実施の時間が決まっている。講習内容は、マシンの説明や利用者の目標確認など。運動後には、シャワーを浴びることもできる。

管理センターには毎日、トレーナーが在室している。利用者に向けた助言をしてくれるので、トレーニング方法や目標について気軽に相談してみたい。「利用者の方が目標を達成してくれるととても嬉しい」「是非、気軽に利用してほしい」と、トレーナーのみなさんは素敵に笑顔で語る。



電子カルテという、体脂肪などを記録してくれるサービスもあるので、運動の結果を確認して次回に役立てることもできる。年間を通して利用することで大きな成果が得られるだろう。

この機会に、是非利用してみたいはかか？

(月～金曜日9:00～21:00・土曜日9:00～17:00 開室、初回講習は11:00～と14:30～に実施)

(文=高木)



毎回共通の質問を投げかけ、先生から学生へ、学生から先生へとバトンをつないでいく連載企画。

# 伝書ばとん

## 「今一番アツくなれるものは何ですか？」



芸術学科 小瀬村 真美 先生

小瀬村先生は大学で映像・アートを教える傍ら芸術家としても活動している。今回のテーマは「視覚を変えるカメラ」。先生の持っている様々なカメラについてお話を伺った。

まず、プロゼミの授業で学生が作成したピンホールカメラを見せてもらった。ピンホールカメラとは内側に感光素材を貼りつけた箱に、小さい穴を開けて光を取り込み撮影するカメラだ。円形の簡易的なものから、ピントを調節できるようになっている本格的なものまであった。撮った写真は、輪郭が甘くぼんわかし映り方をしている。

次に見せてもらったのが、先生が学生時代に購入した折りたたみ式のポラロイドカメラ。こちらもオールドレンズの味わいが出せるという事で、最近人気が出てきており、復刻版も発売されている。その他にも、多種多様なカメラがあり、カメラごとに違った写り方を見ることができた。



芸術作品を制作する際に、始めから作られたものや描かれたものだけを映すのではなく、リアルなものを入れて撮影していくことで、自分の予想できないスペースが生まれる。だからこそカメラを使った作品を作るのだと小瀬村先生は言う。作品の一つに、撮影した本物の四季の花を屏風の中に取り入れているものがあった。花が咲くか枯れるか、撮影者本人も予想の出来ないリアルな視点が描かれていて、とても面白かった。

先生の作品はカメラ以外にもビデオ等を使ったものがある。古典的なイメージやドローイングなどのアナログ的手法を取り入れながらデジタルで編集・合成し作品にすることによって、対極のものを結び付け、新しいイメージの見え方を模索することができるのだという。

これからやりたいこととして、最新のデジタルカメラに古いレンズを付けて映像を撮影したい、と語っていた。過去の視点を鮮明に映すことによってどんな画が撮れるか今から楽しみだ。

小瀬村先生がばとん繋ぐのは、総合文化学科2年 菊池 寛太さん。次回もお楽しみに。

(文=高宮)



# Club Activities



こんにちは。Dancing Team Birdです！

Birdは和光大学唯一のダンスサークルです。大学でダンスを始めた人から経験者まで60人ほどで活動しています。

break、lock、pop、newschool、middle、girlsの6つのジャンルがありますが、ジャンルに縛られず、自分にあったスタイルのダンスを見つけ自由に踊ることができます。Birdにないジャンルを踊っている方や、踊りたいと思っている方も、ぜひ新しいダンスを発信しに来てほしいです！

活動日は、毎週月曜日と木曜日の18時から。パレストラ(体育館)で練習しています。練習は各ジャンルに分かれて行い、基礎練習にも力を入れています。わからないことがあれば先輩たちが優しく教えてくれるので、基礎から応用まで幅広く身につけることができます。

主な活動としては新入生歓迎公演、6月公演、11月公演と定期公演があり、学内のD棟地下1階の学生ホールで発表をしています。定期公演以外にも和光大学創立50周年記念式典で踊らせていただいたり、追いコンや、忘年会、新年会、そして夏合宿など1年を通して色々な行事があります。

公演はダンスを踊るだけでなく、会場設営から、照明、音響などもすべて自分たちでこなし、一人ひとりが責任と自覚を持ち進めていくので、みんなで協力して公演を成功させようと日々努力しています。

Birdのおおまかな活動は前述した通りですが、まずは練習日や公演に足を運んで、自分の目で私たちのダンスや活動を見ていただくととても嬉しいです。ダンス経験者や初心者など関係なく、ダンスに対する気持ちの熱い人が集まっているので、毎回の練習や公演はとても身になり、刺激になります。みんなで気持ちをひとつにして作りあげた公演が成功したときに得られる達成感は、Birdでしか味わえないものだと思います。打ち上げや合宿など楽しむことにも全力なので、いつも楽しく笑いの絶えないサークルだと自信を持って言えます！皆が生き生きとしているこのサークルで、一緒にダンスをしませんか？いつでも待っています！

Dancing Team Bird  
経済学科4年 / 部長 南井 天道





# CAMPUS SNAP

## オススメの授業はなんですか？



### 2015年度前期 授業アンケート結果

和光大学が6～7月に実施した2015年度前期授業アンケート集計結果がまとまりました。このアンケートは、和光大学自己点検・自己評価委員会が実施するもので、和光大学の教育の現状を把握し、授業改善につなげていくものです。

個別のアンケート結果は、それぞれの授業を担当する教員に報告し、授業の改善に役立てるよう依頼しています。また、全体の集計結果を分析して、和光大学の教育のより一層の充実をはかります。

#### 《実施日程・調査方法》

アンケートの実施期間は、6月29日(月)～7月4日(土)の一週間で、一部の科目では一週間前に実施しました。対象とした科目は、大学院科目・集中講義科目を除いたすべての開講科目です。ただし、通年科目、前期・後期連続して受講する科目については後期に実施しました。

調査の方法は、教室内で教員が学生に直接配布・回収し、教員が収集窓口へ提出する形式です。アンケート用紙はマークシート方式です。学生本人の所属学部学科と3つの項目について回答を求めました。項目Iは出席状況について1問、項目IIは授業の内容や形態について8問、項目IIIは授業の改善点について1問(複数回答可)でした。

#### 《集計方法》

提出されたアンケート用紙をコンピュータで集計し、大学全体のほか、科目ごと・学科ごと・課程区分ごとの結果を集計しました。

#### 《アンケート回収率》 ※少数点第2位以下四捨五入

対象者数	23287名
有効回答者数	12501名
回答率	53.7%
前年度回答率	53.2%
(回答率II有効回答者数/対象数)	
対象科目数	476科目
実施科目数	437科目
実施率	91.8%
前年度実施率	89.5%
(実施率II実施科目数/対象科目数)	

#### 《総評》

集計結果を見ると、全体として評価が高いのはII-1「授業内容の周知」、II-2「教材等の準備」、II-4「教員の熱意」といった要素でした。一方で項目IIIでは「もっと分かりやすく説明してほしい」、「もっといいねいに板書してほしい」、「もっと理解しやすい教科書や資料を使ってほしい」などの回答が多く、授業内容の理解度を向上させるために、板書や資料の改善に慎重に取り組む必要があると考えます。

この結果を受け、引き続き大学として授業の改善方法を検討していきます。学生の皆さんには本年度も引き続きアンケートを実施しますので、趣旨をご理解いただき、ご協力をお願いいたします。

また、後期のアンケート結果は大学ホームページにて公開しています。

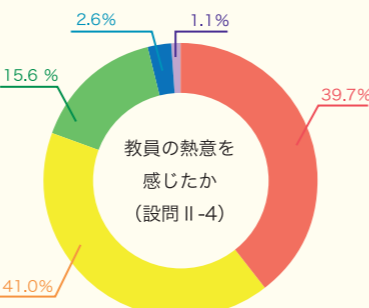
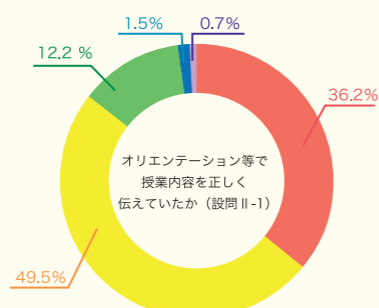
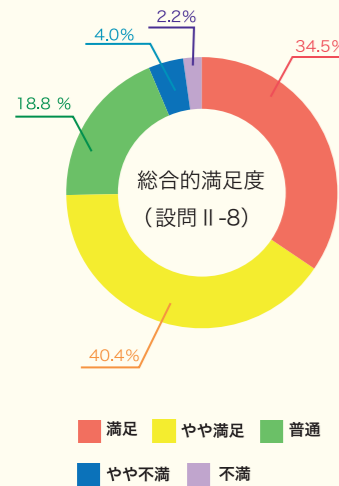
担当 企画広報係

### 全体の集計結果

設問	質問内容	すべて出席した	1～2回欠席した	3分の2程度出席した	3分の1程度出席した	ほとんど出席しなかった
I-1	この授業を、これまでにどのくらい出席しましたか？	37.6	41.6	18.8	1.6	0.4
II-1	講義要目やオリエンテーションは、この授業の内容を正しく伝えていた	36.2	49.5	12.2	1.5	0.7
II-2	この授業では、適切な教材・機材・資料などが準備されていた	38.6	45.2	13.0	2.3	0.9
II-3	この授業で教員は学生とコミュニケーションを積極的にとろうとしていた	33.6	36.1	22.4	5.7	2.1
II-4	授業準備や話し方を通じ、この授業に対する教員の熱意を感じた	39.7	41.0	15.6	2.6	1.1
II-5	この授業のために、授業時間のほかに自分で予習や復習をした	18.2	26.1	31.2	14.1	10.4
II-6	この授業の内容をじゅうぶんに理解できた	24.0	41.1	25.8	6.6	2.5
II-7	この授業を受けて好奇心が刺激され学習の意欲がわいた	28.0	37.4	25.3	6.2	3.2
II-8	総合的に判断して、この授業に満足している	34.5	40.4	18.8	4.0	2.2

選択項目III	回答人数
授業の開始・終了の時刻を守ってほしい	228
学生のおしゃべりなど迷惑な行為をやめさせてほしい	591
もっと理解しやすい教科書や資料を使ってほしい	600
もっといいねいに板書をしてほしい	603
もっと分かりやすく説明してほしい	883

選択項目III	回答人数
成績評価の基準をより明確にしてほしい	468
学期中の授業スケジュールをもっと明確にしてほしい	238
質問や相談にもっといいねいに対応してほしい	212
より適切な広さの教室を用意してほしい	202
パソコンなどの機器をもっと整備してほしい	255



## 情報保障団 (学生支援室)

### 情報保障団として、障がい学生のサポート

入学登録や学科オリエンテーションなどでの、要約筆記(パソコンテイク)を行う「情報保障団」メンバーを募集しています。

- 特徴
  - ・定期的に練習会を開催しますので、パソコンテイクが初めてという方も大歓迎です(謝礼あり)。
- 申込・問い合わせ
  - 学生支援室(A棟3階)まで



## 学生キャリアアドバイザー (キャリア支援室)

### 内定を取った経験を活かし、3年次の就活をバックアップ

内定を獲得した卒業年次生を対象に、「学生キャリアアドバイザー」を募集しています。キャリア支援行事のお手伝いなど、後輩の就職活動をバックアップしてもらいます。登録制、謝礼あり。

- 特徴
  - ・「自分の経験なんて役に立たないのでは」「大企業に入った経験でなければ相手にされないのでは」そんなことはありません。自分の失敗や苦勞を後輩のために活かしたい!という方をお待ちしています。
- 申込・問い合わせ
  - キャリア支援室(A棟3階)まで



## オープンキャンパススタッフ (アドミッションセンター)

### 学生スタッフとしてオープンキャンパスを盛り上げる

大勢の受験生を迎えるオープンキャンパスで、受付や案内をしてくれる元気で責任感のある学生スタッフを募集しています。アルバイト登録制。4月上旬より受付開始予定。

- 特徴
  - ・和光大学のおもしろさ、学び方などを、受験生に伝えることができます。
  - ・オープンキャンパスの前にはスタッフミーティングや研修を受けられるので、初めての方も自信を持って当日を迎えられます。
- 申込・問い合わせ
  - アドミッションセンター(A棟1階)まで



## 広報冊子作成スタッフ (企画広報係)

### 『WAKO CIRCLE』をつくり編集の腕をみがく

毎年発行している広報冊子の作成をしていただける方を募集します。

- 特徴
  - ・この冊子『WAKO CIRCLE』は学生スタッフとともに作成しています。企画、取材・執筆、撮影、レイアウトなど、編集作業に興味のある学生をお待ちしています。謝礼あり。
- 申込・問い合わせ
  - 企画広報係(A棟1階)まで



## ノートテイク (学生支援室)

### ノートテイクとして、障がい学生の授業をサポート

授業中、聴覚障がい学生や肢体不自由学生の隣に座り、音情報を書き留めるノートテイクを募集しています。現在約50名の学生がノートテイクとして活躍中です。テイク回数に応じた謝礼あり。

- 特徴
  - ・日常のノートテイクや交流会などを通じて、障がい学生、他のノートテイクとの繋がりができ、友人も増えます。
  - ・ノートを取る力や話を要約する力が身につくことで、自分の勉強や就職活動に役立ちます。
  - ・初めての人でも安心して取り組めるように、基礎技術の講習会を実施しています。
  - ・人の役に立つのが好きな方、大学に入って新しいことに挑戦してみたい方、パソコン入力が得意な方、ぜひ応募してください。
- 申込・問い合わせ
  - 学生支援室(A棟3階)まで



## Let's Read Project・対面朗読スタッフ (図書・情報館)

### Let's Read Project 図書・情報館で、本にまつわる企画にたずさわる

読書や本にまつわる企画・イベントを計画・実行する「Let's Read Project」のメンバーを募集しています。「選書ツアー」の開催や館内の常設コーナーでのテーマ別企画本棚の公開、ビブリオバトルの開催など、新たなアイデアも続々登場しています。

- 特徴
  - ・学年も所属学科も多様な学生が集まっているので、館内に設けられたLRPルームでは、本やマンガなど、いろいろなジャンルの話題で交流できます。
  - ・フリーペーパー『Counter』の発行やポスター制作などを通じて、表現のスキルを身につけることができます。
- 学生メンバーからの声
  - 選書ツアーに参加したり、館内の本をセレクトして本棚を作ったりするなかで、自分が知らなかった本の世界を知るおもしろさ、自分が紹介した本を読んでもらえる楽しさを体験できました。



### 対面朗読スタッフ 対面朗読で、視覚障がい学生をサポートする (対面朗読サービス: 視覚障がい学生の図書・情報館利用を援助するために実施)

1年間(または半期)、授業の空きコマに視覚障がいのある学生とペアを組み、本やプリントの代読、資料探しのお手伝いなどの、図書・情報館利用のサポートをする学生を募集しています。週1コマ。年2回朗読料を支給しています。

- 特徴
  - ・年度初めに募集し、授業の空き時間をもとに調整します。
  - ・図書・情報館の仕事や調べものに関心のある学生の皆さん、人の役に立ちたい、視野を広げたいという方、ぜひ参加してください。
- 申込・問い合わせ
  - 梅根記念図書・情報館まで





事務局からのお知らせ

### 事業室 A棟3階

●通勤・通学時のマナーについて  
やむを得ず自動車を利用しなければならぬ方以外に、駐車スペースを確保することはできません。徒歩・スクールバスでの通学・通勤をお願いいたします。

また、道いっぱいに広がって歩く、たばこのポイ捨て、夜間の大声での談笑など地域住民の方から苦情が届いています。思いやる心を持って通行するよう心掛けてください。

### 教学支援室 A棟2階

●単位取得簿交付(2年生以上)  
4月5日(火)、6日(水)、7日(木)の学科別の学年指定オリエンテーション会場で交付します。学生証持参の上、必ず出席してください。詳細は、各学科の掲示板または大学ホームページで確認してください。

●履修相談  
学習計画や受講科目届のことなど、教学支援室で相談に応じています。  
●受講科目登録期間 4月18日(月)、19日(火)  
※受講科目届の記入や、履修登録単位数の上限については、「学修の手びき」をよく読んでください。

●前期授業開始  
前期(大学院は春semester)の授業開始は4月8日(金)です。

●受講登録科目の確認について  
受講登録した科目のリストを、5月初旬に本人宛に郵送します。誤りがあった場合は、期間内に訂正の手続きをしてください。  
●訂正期間 5月6日(金)、9日(月)、10日(火)

### 学生支援室 A棟3階

●学生用ロッカーについて  
貸与期間は17年1月末まで、利用料は年間千円です。応募者多数の場合は抽選をします。利用申込の受付は、学生支援室です。  
●受付期間 4月5日(火)～15日(金)

●セミナーハウスの利用について  
和光大学セミナーハウス「鶴舞青年の家」を、サークルやゼミの合宿で利用できます。体育館、テニスコート、グラウンドもあり、パーベキューもできます。利用の際には1か月前までに手続きを行ってください。  
●利用可能期間 7～9月、2～4月

●学生相談室 TEL044-949-0004  
月～金の週5日、11時15分から1日5コマでカウンセラーが相談に応じています(1コマ45分、予約制)。予約や詳細についてはG棟学生相談室までお問い合わせください。

### 医務室 G棟1階

●健康診断と再検査等について  
健康診断(在学生)は、4月5日(火)、6日(水)、7日(木)に行います。健康診断で、再検査や校医面談を指示された方は、お伝えした実施日時に必ず医務室に来てください。

●健康診断証明書について  
大学で健康診断を受け、かつ再検査等指示をすべて済ませた方のみ、5月中旬から自動発行機で発行ができます。ホームページや掲示板などで発行開始日を案内する予定です。詳しくは医務室までお問い合わせください。

●感染症への注意と予防  
37度5分以上の発熱や体調不良時は、何らかの感染症にかかっている場合もありますので、登校前に受診するなどの対応と普段の予防をお願いいたします。

### キャリア支援室 A棟3階

●4年生の皆さん  
キャリア支援室には企業から寄せられた求人票があります。将来の可能性を広げて就職活動に挑戦してください。履歴書のチェック

●集中講義・補習講義期間・試験期間  
平日9時～16時50分(最終受付16時20分)

### 和光大学同窓会

●同窓会運営メンバー募集中  
同窓会運営の活動を楽しく、意味のあるものにするためにぜひともお力をお貸しください。現役生も歓迎します！  
第3回和光大学同窓会作品展「おかがみ」  
実行委員/地方幹事(山梨支部稼働中)/同窓会誌寄稿者(近状報告、イラスト、漫画等)/現役生の就職支援をしてくださる方(一般企業、福祉、就職関係)/寄付(一口五千元)  
詳細はHPをご覧ください  
FAXにてお問い合わせください。  
Eメール: dousoukai@wako.ac.jp  
FAX: 044-949-0008

## Campus Calendar April

Day 2 (土)	新入生健康診断
Day 4 (月)	入学登録 父母懇談会
Day 5 (火)	学科別オリエンテーション(※) 資格課程オリエンテーション(※) 東京工芸大学単位互換オリエンテーション 在学生健康診断 日本学生支援機構奨学金申請説明会①
Day 6 (水)	学科別オリエンテーション(※) 在学生健康診断 短期語学留学オリエンテーション
Day 7 (木)	学科別オリエンテーション(※) 編入生・転入生オリエンテーション 再入学オリエンテーション 東京工芸大学単位互換オリエンテーション 資格課程オリエンテーション(※) 在学生健康診断
Day 8 (金)	前期授業開始 日本学生支援機構奨学金説明会②
Day 18 (月)	受講科目登録
Day 19 (火)	

## May

Day 2 (月)	学生研究助成金の募集受付 (～5月31日まで)
Day 6 (金)	受講科目登録訂正期間 (～5月10日まで)

(※) 詳細は、オリエンテーション日程表を確認してください。

や面接の練習も受け付けています。

●3年生の皆さん  
各企業は3年生向けにインターンシップを実施しています。社会人と接する貴重なチャンスです。自分の興味のある企業・団体に積極的に体験しましょう。キャリア支援室にて、各企業から届く案内を見ることが出来ます。

●保証人の皆さま  
学年に関係なく、進路決定のサポートをキャリア支援室で行っております。就職活動など進路について学生本人が迷っている際は、足を運ぶようにお声掛けください。

### 企画室 A棟1階

●学生研究助成金の募集  
学生・専攻科生で学術研究等に顕著な成績を上げられると思われる個人またはグループを対象に、学生研究助成金を支給します。  
●給付額 1件5万円以内  
●場合により増額あり。ただし10万円を超えないものとする。  
●受付期間 5月2日(月)～31日(火)

●授業アンケートについて  
15年度に実施した授業アンケート結果をホームページで公表しています。

●オープン・カレッジはいいあのご案内  
どなたでも受講できる学びの場です。本学在生は受講料が5分の1になります。企画広報係までお問い合わせください。

### 奨学金制度

●輝け！未来の和光ダイヤモンド  
和光大学成績優秀者奨学金(新規)  
【対象】 2～4年次生  
【給付額】 42万5千元(後納分授業料)  
【採用人数】 上限8名  
【申請時期】 4月上旬～4月下旬  
【選考基準】 学力基準のみ

●輝け！未来の和光サファイア  
和光大学給付奨学金  
【対象】 2～4年次生  
【給付額】 42万5千元(後納分授業料)  
【採用人数】 上限70名  
【申請時期】 6月中旬～6月下旬  
【選考基準】 学力基準および家計基準

●日本学生支援機構奨学金  
日本学生支援機構奨学金の貸与を新たに希望する方は、申請説明会を開催しますので、左記のうち、どちらかの説明会に必ず出席してください(※内容はどちらも同じです)。  
【日時】  
① 4月5日(火) 12時10分～  
② 4月8日(金) 12時10分～

【場所】 E棟101教室  
※高校在学時に日本学生支援機構奨学生採用候補者に決定した方は出席する必要はありません。

●私費外国人留学生を対象とした奨学金  
私費外国人留学生対象の説明会を開催します。  
【日時】 4月13日(水) 12時15分～12時55分  
【場所】 A棟4階 第2会議室



## 「古いもの」から「今」を見出す



表現学部 総合文化学科教授

まつむら かずお  
**松村 一男**

専攻分野 宗教史学・神話学

松村一男先生の授業は主に神話や宗教（聖書など）をテーマにしている。神話だけでなく「古いものにひきつけられるんです」とお話される先生に、今回は「古い」にまつわる3つの場所についてお話を伺った。

### お宝が眠る古本屋

中学生の頃から古本屋に赴くことが好きな松村先生。そこでは以前は買えなかった本との出逢いが待っていると言う。長年通って身につけた勘で選び取った本から、自身の研究にまつわる新しい考えを得られるそうだ。もう何十年も通っている店では、本を選んでいると店主がコーヒーを入れてくれるようになったそう。古本を通じた交流も魅力のようだ。

### 神話世界のアート空間

本と並び先生が好きなのが美術館。学会などで海外を訪れた際には空いた時間を美術館や博物館巡りに使うのだという。外国では撮影が許可されているところがほとんどなため、授業で学生に見せる神話資料を調達するためにも欠かせない場所だそう。

もっとも印象的なエピソードをうかがったところ、オランダの国立博物館にて、朝一番で入館しフェルメールの作品を一人で5分間見続けたことを話してくれた。その時間、この絵を見ているのは自分だけなのだ、となんととも言えない感動を味わったそう。

### 古代と今を繋ぐ場所

古代の建造物や生活の跡をそのまま現代に持ち込んだ遺跡も好きだと言う。ただ観光するのではなく、その遺跡について事前に熟知していることによって他の観光客が目を向けられない部分の鑑賞も楽しめるのだ。遺跡の多くは、今やその土台しか残っていない。そこからどのようなことが想像できるのか、自分なりに考え研究テーマにしていくことも遺跡を見る醍醐味だそう。

今回の3つの場所はどれも「古いもの」を扱っている。だがそれらを「過去のもの」として完結させるのではない。今現在を理解するためにはまず古いものを理解してこそなのだ先生は熱く語ってくれた。まさしく「温故知新」の精神だ。

(文=群馬)



- ◆身体環境共生学科
- 制野 俊弘（せいのにしひろ）
- ①宮城教育大学大学院教科教育専攻保健体育専修修了
  - ②石巻・東松島市立中学校教諭、宮城教育大学非常勤講師
  - ③体育科教育学
  - ④秘湯めぐり、釣り、スポーツ観戦（特にサッカー）



- ◆総合文化学科
- チャールズ ヒューベンソール
- ①コロンビア大学ティーチャーズカレッジTESOL修士課程修了
  - ②早稲田大学、上智大学、津田塾大学非常勤講師、文化学園大学教授
  - ③応用言語学、言語習得学
  - ④政治、歴史、ランニング、サイクリング



- ◆心理教育学科
- 大瀧 三雄（おおたきみつお）
- ①宮城教育大学教育学部特別理科教員養成課程卒業
  - ②和光幼稚園・和光鶴川幼稚園教諭・園長、和光大学非常勤講師
  - ③保育に関わる実践分野、保育内容論
  - ④ものづくり、囲碁



- ◆総合文化学科
- 小林 茂（こばやししげる）
- ①同志社大学法学部政治学科卒業
  - ②写真家、ドキュメンタリー映画撮影、映画監督
  - ③ドキュメンタリー映画
  - ④映画鑑賞、太極拳



●表現学部教授  
佐治俊彦（さじとしひこ）  
1974年に着任。専攻は、中国文学。「中国の都市文芸」や「中国文学序論」などの科目を担当。留学生の学修生活指導や、日本人学生の異文化交流に力を割く。学内委員として、資格課程委員、国際交流センター委員、教学会議（その他外国語担当）委員、大学院現代社会文化論コース長を務める。著書に『かくも美しくかくもけげなげな——中国のタカラヅカ——越劇百年の夢』、共訳に『地球宣言——大草原の偉大なる寓話』（リグデン作）など。学外では、中国1930年代文学研究会主管、日本現代中国学会理事などを歴任。

新任教員の紹介（16・4・1付）

- ①最終学歴
- ②主な経歴
- ③専攻分野
- ④趣味・特技

退職される教員の紹介（16・3・31付）

## STAFF MEMBERS

- |            |            |            |            |
|------------|------------|------------|------------|
| 群馬叶恵 (13T) | 取材執筆       | 高宮志帆 (14G) | 取材執筆、レイアウト |
| 小林和 (13T)  | 撮影         | 田仲紗采 (15P) | 撮影         |
| 小山裕子 (12G) | レイアウト      | 藤巻瞬 (15G)  | 撮影、レイアウト   |
| 高木郁彦 (15P) | 取材執筆、レイアウト | 星野史織 (14G) | レイアウト      |

お問い合わせ先：企画広報係（Tel. 044-988-1433）





# OUR NEIGHBORS

Vol.19

## ～ 隣人探訪 ～

在日ファンク 仰木亮彦さん、浜野謙太さん、ジェントル久保田さん

今回のOUR NEIGHBORSに登場していただくのは「和光大学創立50周年記念式典・ホームカミングデー」でライブ・トークショーに出演した「在日ファンク」の浜野謙太さん、仰木亮彦さん、ジェントル久保田さんの3人。みなさん、和光大学の卒業生だ。

「在日ファンク」は7人で構成されたファンクバンドで、和光大学で出会ったメンバーが中心になっている。今の「在日ファンク」として活動する前は、コピーバンドをやっていたが、あのジェームス・ブラウンが亡くなったことをきっかけに本格的にファンクバンドとして「在日ファンク」を結成したのだという。

3人が出会ったのも和光大学だ。

浜野さんは高校時代にトロンボーンを演奏していた。大学に入ってからトロンボーンをやらないと決めていたのだが、サークル「JAZZ研究会」に入学し、ビックバンドという17人編成のオーケストラに参加。トロンボーンを続けることになった。部室へ訪れた3人の顔には、思い出の場所がまだ残っていることを懐かしむ様子がかがえた。

サークルでは楽譜を見てひたすら練習をしたり、コンテストに出たりと、とても意欲的で、練習すればするほどいい演奏ができるというやりがいがあった。当時の和光大学のサークルではコンテスト出場の方針も資格もなく、はじめは他大学のサークルと一緒にコンテ

ストに出場していたが、「和光としてコンテストに出るのも面白いんじゃないか。」と呼び掛け、和光大学のサークルでもコンテストに出られるように活動したりもしていたという。

自由な校風の高校に通っていた浜野さんは、和光大学人間関係学部人間関係学科を進学先に選んだ。在学中は1年次にプロゼミを受け持っていた堂前先生のもとで勉強をしていたという。堂前先生はもちろん、ほかの先生の授業にも面白いものがたくさんあった、と懐かしそうに話してくれた。

キャンパスの作りが面白くていい、と語っていた仰木さんは沖縄大学へ交換留学に行ったという。今もある「火と人間史」の授業が楽しかったなど、当時から個性的な授業が豊富だったことがうかがえる。就職した後に、久保田さんは「視覚とことば」などの授業を担当している松枝到先生のゼミに入っていた。卒業制作の話など、思い出深い話が飛び交っていた。

3人は「和光大学はゆるく、ハードコアな先生が揃っている。だからこそ研ぎ澄まされ、異質性が磨かれるのではないだろうか。」と語ってくれた。

気鋭に活動する在日ファンク。その魅力には、そんな和光大学のゆるさと、異質力が反映されているのかもしれない。

(文 = 高宮)